

## 恵仁会通信（戮力協心）vol.52

発行所：医療法人社団 恵仁会 あっぶる歯科クリニック  
〒901-1117 沖縄県島尻郡南風原町津嘉山 1467-3  
TEL 098-889-1182 FAX 098-889-1247

発効日 2013年6月1日

歯の痛みどこから来るの？

「歯が痛い」とは歯の内部やその周辺で異常事態が起きていると感知した神経のアラームが「ON」になっている状態です。トラブル発生を脳に伝えるシステム自体悪いものではありませんが実際に痛みが起きるとつらいものです。

「歯の痛み」と聞いて誰もが思い浮かべるのが歯の神経(歯髄《しずい》と言います)を取る治療でしょう。当然ながら歯髄を取れば歯の中には痛みを感じる受容器がなくなりますので「神経を取ったのだから痛みはなくなるはずだ」、また、治療が終わってすぐに違和感が消えないと「治療が失敗したのでは？」と考えがちです。

アラームの「ON」になっている原因である細菌感染した神経を取り除き、歯の内部を掃除して殺菌し密閉し生体が治癒しやすい「環境作り」をするのが歯科医師の仕事です。

実は歯の神経は顎の中を通過して三叉(さんさ)神経から脳へ繋がっています。この神経を一部分だけ切り取るわけですが、切除された後も歯の外側にある神経は残っていますし、歯に加わる力のセンサーである歯根膜(しこんまく)の存在もあります。歯の外側まで感染が及んでいたら炎症が体の免疫によって押さえ込まれるまでには健康な方でも一定の時間が必要です。また治癒に向かう期間も個人差があります。ジャマものがいなくなる事で患者さんの治癒力により炎症が治まるといつしかアラームが「OFF」となり痛みが引くというわけです。

歯の治療と痛みや違和感切っても切れないもの。しばらくはつらいでしょうが治療を中断するとかえって状態が悪化して再治療が困難になる事もありますので一緒に頑張って乗り越え、良い治療にしていきましょう。